安全対策

〇安全管理

〈装備について〉

・出艇する際必ず、**スマホ、レスキューシート、笛、予備ジョイント**を所持する。

・ライフジャケットは規定内の物を使用する。

・**冬季に軽装で出艇することを禁止する。**正規練では現役最上級生が服装を確認する。

〈平日練習について〉

・平日出艇する際、2 人以上または、他大学がいる場合でのみ出艇する。

・平日出艇する際、出艇 LINE に出艇、着岸を報告、セブンシーズに出艇、着岸の挨拶をし、出艇ノートに出艇時間、着岸時間を記入する。

※なるべく 2 人以上で出艇すること。オフショア１０m/s 以上で 1 人で出艇は禁止する。

・二年生以下で出艇する際は、主将とショップの方（新島さんが望ましい）に相談する。

〈正規練について〉

・出艇前に予報、海面状況を確認すること。吹き上がる可能性がある場合はショップの方と相談し決める。

・強風予報時、出艇する前にレスキュー体制について話し合う。

・微風、強風に限らず、**現役最上級生が沖に残り、着岸を見届ける。**

・吹き上がりやトラブル等で帰着する場合、先輩に報告すること。（ただし、緊急時の場合はその限りではない）着岸が完了次第グループに報告する。

〈吹き上がり時〉

・誰が誰を見るのか、**スマホでグループに報告。**

・着岸した場合、**グループに着岸したことを報告。**

〇着岸時間について

1 月～2 月：**15 時 30 分**着岸

3 月～4 月：**16 時**着岸

5 月～8 月：**16 時 30 分**着岸

9 月　　：**16 時**着岸

10 月　　：**16 時**着岸

11 月～12 月：**15 時**着岸

〇海上での事故、トラブルの報告について

① 道具トラブル等により帆走不可能になった場合。

② 他の部員、ショップにレスキューされた場合。

以上の場合、幹部への報告義務が生じるものとする。

〈報告内容について〉

・帆走不可能になった原因と対処方法

・レスキューの際の反省点、改善点等

・事故による損壊状況（身体状況、道具の破損の程度など）